



第1回みんなで やってみよう科

2019年9月1日(日)

14:00 ~ 16:00

青年の家2階201号室

参加者22名

教育長あいさつ

交野市立第一中学校は、昭和36年の新校舎建設当時からまちの誇りでした。これからつくる施設一体型小中一貫校も統廃合ではなく新しい学校づくりです。子どもたちが何十年も先にこの学校で学んでよかったと思えるよう、地域の力で一緒につくっていききたい。そうしてできる新しい学校が、まちの魅力、まちの誇りになってほしいと考えています。



北田教育長

みんなでやってみよう科のカリキュラム

かたのあしたのがっこう“みんなでやってみよう科”は、地域と協力した学校運営をあり方を考えるために、楽しく意見交換できる場として開くものです。学校と地域が連携していくために、実際にどんな活動をすればいいのかを他の事例から学んだり、実際にみなさんと一緒に取り組みを企画していきます。5時限目以降も企画の進捗に合わせて、開催していく予定です。

みんなでやってみよう科 時間割表

	日付	内容
1時間目	9/1	地域と学校がつながるイメージをふくらませよう
2時間目	10/6	講演会 & 交野らしい学校を考えよう
3時間目	11/17	やってみたい活動を考えよう
4時間目	12/22	活動しやすい学校の受け入れルールを考えよう
5時間目		活動の企画づくり

自己紹介 参加メンバーを知ろう!

まずは、どんなメンバーが集まったのか、お互いを知るために、「小中学生時代のあだな」「お住まいの地域」「参加の動機」「新しい学校でやってみたいこと」を書く自己紹介シートを使って、テーブルで自己紹介をしました。その後、シートをテーブルに置いて他のテーブルでどんな人がいるかを見て回りました。子育て支援の活動や、和太鼓、お茶、空手などのさまざまな活動をされている方が集まっていました。楽しくなりそうです!



意見交換 学校と地域がつながること

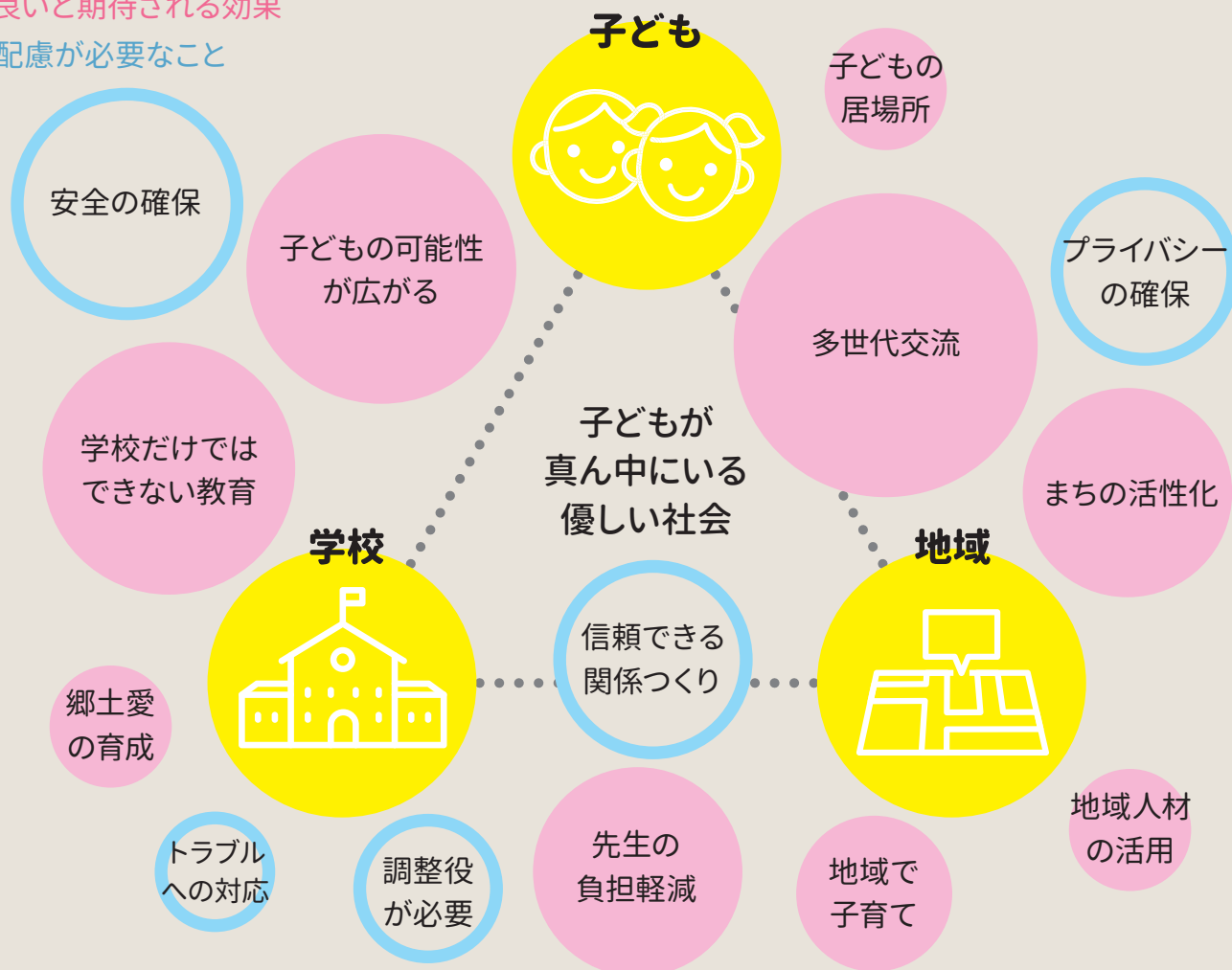
これからの取り組みに向けて、学校と地域がつながることによって、「よいと期待される効果」「配慮が必要なこと」を子ども、学校、地域それぞれの視点で意見交換していきました。

子どもたちを中心に多世代がつながることで、子どもも大人も元気になる地域づくりにつながることが見えてきました。



● 良いと期待される効果

○ 配慮が必要なこと



1 班

地域と学校が連携していくには、相互の理解が必要。先生も地域も教育委員会も相互理解の輪に入って、教育のあり方、そしてまちづくりの活動にもつなげていけるような取り組みにしたい。

3 班

地域と学校がつながり、連携していくためには、調整役が必ず必要になる。また、小中一貫教育についても、さまざまな懸念があるので、解決していける取り組みも考えていかなければならない。

2 班

地域自体が元気になることにつながるのに、まだ、地域のほとんどの方がこの取り組みのことを知らない。案内や情報発信も必要ですが、実際に参加してもらうことが大切なので、それにつながる取り組みを進めていきたい。

4 班

学校と地域が連携することで、学校での教育だけでなく、地域で子育てをすることにもつながる。このことを実現させるためには地域、学校、保護者の信頼関係を築くことが大切で、そのための取り組みが重要となる。

次回のご案内

第2回みんなでやってみよう科
講演会 & 「交野らしい学校を考えよう」
10月6日（日）13:30-17:20
ゆうゆうセンター 4階交流ホール & 多目的ホール



次回までの宿題

課題を解決するために各地で実践されている先進事例を調べてくる！



製作：studio-L

発行：交野市教育委員会事務局

学校規模適正化室

〒576-0052

私部2丁目29番1号